

渡 利 に

猫虐待飼育者がいます

猫を救うために、協力してくださる方はいませんか
協力者へは
虐待飼い主の住所氏名を公開します

アニマルポリスは県警本部・福島署と情報を共有することがあります

このハガキを名誉毀損だと騒ぐ人物がいたら
その人物こそが虐待飼育者だと疑ってください
(この葉書は本人へも送付済)

虐待飼育をやめさせるために、

1、飼い主へ頻繁にエサを届け、ついでに、飼い方アドバイスを
をする。監視効果あり。

2、飼い主から引き取って飼ってくれる方はいませんか。(必ず
去勢避妊をする方) 虐待飼育されている猫は10頭以上。



【目撃情報】

●エサをろくに与えず、猫たちは、もぐら・ねずみ食べている。おしりから腸を出して死んでいた●飼い主は以前はブリーダーをしていた●飼い主は、去勢不妊手術を受けさせない。繁殖・衰弱死を繰り返している●飼い主は保健所へ猫を渡して減らしたようだ●猫のフンにはウジが湧いている●現在10匹以上いる。妊娠中の猫もいる。去勢不妊をしていないのに10匹程度ということは、不適切飼育によって衰弱死した頭数がかなりあるということ。

アニマルポリスの活動は、福島でもトップレベルの極貧生活を続ける主婦によるもの。築90年以上のボロ屋敷に住み、テレビなし、車なし、新聞なし、エアコンは冷房のみ、換気扇なし。お金があつて活動しているのではなく、活動を続けてお金がなくなった。「お金をもらって活動してるんだろ！」と暴言を吐く輩へ言いたい。ボランティアやってお金をもらえらなら、あなたこそボランティアすれば良いのでは？と。活動してまともな生活ができるなら、皆がマネするだろうが、誰もマネしない。それだけ過酷な活動だということ。楽なところには人が集まり、過酷なところには人は集まらないものだ。

～～～繁殖は虐待～～～

●産ませた飼い主は命を持て余し、家から追い出す目的で新しい飼い主を探すのです。譲り受ける人は誰もが初めは「一生大切に大切に飼います」と言うが、最後まで飼えない人が後をたちません。虐殺目的で複数回に渡って、産ませた飼い主から譲り受けた男がいます。男は女性を使って「一生大切に大切に飼います」と言わせて、産ませた飼い主から譲り受けたのです。●産ませた飼い主は経済的に行き詰まり、衰弱死・病死させている。それは自然淘汰ではなく虐待飼育にあたる。

～～～個人批判こそ正義～～～

「日本人が悪い」「社会全体の責任」じゃ、悪くない人までも道連れにして批判することになる。なので不特定多数者への人権侵害になるが、個人攻撃は人権侵害にはならない。「個人攻撃は良くない」という論調は歴史捏造によって日本を陥れようとする反日左翼によるスパイ活動のひとつ。日本でやりたい放題やるために「個人攻撃は良くない」という世論を作り上げる必要があったのだ。

アニマルポリス
〒960-8066 福島市矢剣町11-3 星野節子
024-563-7650 (tel fax)
ブログ <http://ameblo.jp/animal-police>

サイト <http://www2.tky.3web.ne.jp/~meme/>